



特定非営利活動法人

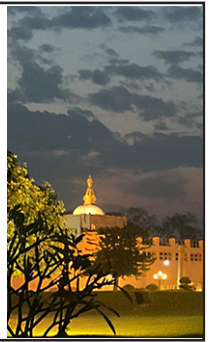
令和 6 年 新年号 NO.69



<http://nepal-mika.jp>

ネパール・ミカの会

令和 5 年 12 月 20 日発行 194-0035 東京都町田市忠生 2-5-36 tel042-791-0602



「とにかく『よかった』『よかった』ですね。」

理事長 齋藤 謹也



何年も川がせき止められていたような状況でした。

小学校の校舎建設工事ストップにより、どうしようの言葉の続く理事会・例会ばかりでした。みんな老いや病や高齢といった理由を数え上げての会合は落ち込むばかり。でも会員の励ましやあたたかい愛語の力によって「とにかく行こう」の力がふりしぼられて今春の支援の旅の決行となり、宿題が果たされました。ご苦労さま。ありがとうございました。

加藤団長をはじめ支援の旅同行の会員の方への御礼と共に、心配して下さった方々へ御礼を申し上げます。私も足の弱り、高齢を理由にしての体たらくでした。反省します。

まあ、この区切りの時期を終えて、NPO 法人格をどうするかなど、検討すべき問題が山積みです。ネパールに地震もありましたね。

もう一度初心に戻って「今できる事は何だろう」から考えてみましょう。

これは他人（ひとさま）の会ではなく、私達自身の「生き方」の会なのですから。ひとごととは思わずご支援ご協力下さい。

行く手遥かに見渡せば、道のまことはすぐ近く。互いのむねにあるを知る。同行同修のよろこび。本年が良いお年となるように。



シリ・アマリ校 1 階も真っ白にペイントされました。



シリ・マヤデビー校のペイントと幼児教室の床の整備も完了。



広島祈りの石助成金事業で両校に机・椅子を納入しました。

「町田発 国際ボランティア祭り 夢広場」

和田 泰子

今年の夢広場は25回記念として、11月3日ぽっぽ町田での各団体ブース出店と、23日市民フォーラム・ホールでのステージ公演の2日間で行われました。

夢広場は1998年にミカの会・齋藤理事長（当時は会長）の呼びかけでスタートし、当時の東急デパートの広場（現在は道路）で7月の暑さの中、理事長はじめ会員の皆様も若々しく、元気あふれるイベントになりました。その後、実行委員会が発足、齋藤会長が初代実行委員長に、加藤副会長が副実行委員長に就任し、当時の寺田市長が名誉会長に就きました。その後、実行委員長、事務局など次々とバトンタッチされながら、今まで続けてきました。

3日のブース出店では秋晴れの下、ミカの会は3月の教育支援の旅で仕入れたネパールの民芸品や武さんご寄付のネパール紅茶の販売をしました。

齋藤理事長も名誉実行委員長としてセレモニーで挨拶し、発足当時の懐かしい思い出も話されていました。中々お会い出来ない会員さんにも顔を出して下さり、賑やかな一日になりました。



23日のステージ公演では、ミカの会は3月に実施された教育支援の旅の映像での報告という事で、制作チームを組んで検討しました。

映像関連では殆ど加藤副理事長にお任せで、内容をネパールの現状と支援地ルンビニの紹介、訪問した支援校3校での其々の様子の5つに纏めてもらいました。

当日は加藤副理事長の挨拶に始まり、ネパールの今の様子をゴビンダさんが、それに続いて和田、加藤雅子さん、中野さん、松浦さんが、各々担当した個所にナレーションを入れながら舞台の大画面で観て頂きました。

終了後、他団体の方から永い間一緒に活動してきたが、具体的にどんな活動をしているのか今日は良く分かりましたとか、映像がきれいでナレーターも各々自分の言葉で語っていて、とても良かった等の声を頂きました。

初めてのことで皆すごく緊張しましたが、本当に良い経験になりました。

夢広場は永い間“この星に平和と希望を”を大テーマに掲げてきましたが、今こそ手を取り合って、この小さな星のすべての国に平和を！と心から願わずにはいられません。



「ささやかな支援ですが」

武 五月

私事ですが、夫がネパール赴任中の2011年から、細々とネパール紅茶の輸入販売をしております。

それ以来、ネパールには毎年のように行っていたのですが、なかなかタイミングが合わず、今年が初の支援の旅参加でした。

ずっと行きたかった支援の旅、そして、2019年から4年ぶりのネパール。紅茶の季節が3月末からなので、その前にほかのメンバーとはカトマンズで合流し、共にルンビニへ。

ルンビニでは、どの学校もすごい歓迎ぶり、ミカの会がこれまでいろいろやってきたことが、しっかり根付いているのを感じとてもうれしく思いました。

各学校の式典には村長さんや、周りの学校の校長先生などもらして、いろいろスピーチされ、きっといろいろ期待されているのだろうと感じました。

シリ・マヤデーでは、幼児教室の床がボコボコなので、子供たちが座って学べるように、床と低いテーブルと、大きなテレビが欲しいというリクエストがありました。

正直いいますと、その話を聞いた時には、日本の感覚で大きなテレビを想像しましたので、さすがにそれはいらないでしょうと思いました。幼児の教育用と言いつつ、村の大人たちが映画でも見たいのではないかと、思ってしまったわけです。

何年も前からミカの会員ではありますが、ほとんどお役に立っておりませんので、この機会に何かできることがあればと思い、少し援助を申し出ました。当然大きなテレビを買うような金額ではありません。

先日実際に完成した幼児用のお部屋で、大勢の子供たちが床に座り、英語の教育テレビを見ている映像を見て、すごいなと思いました。思わず一人で画像見て拍手！

そんなに寄付していないのに、ちゃんと素敵な床、低いテーブル、大きさはともかくテレビまで要望通りに整えてくださいました。ラマさん凄いです！本当にありがとうございました。



会員の武さんのご好意で幼児教室のカーペット、幼児用机そしてテレビがプレゼントされました。



シリ・アマリ校の開校式の際、強い要望があった錆びた校舎の屋根のペイントも綺麗なブルーに塗ることが出来ました。



☆☆☆ 2023.10.07-08 町田大道芸 ☆☆☆

今年もパークアベニュー商店会さんのご厚意により、10月7日・8日に町田大道芸 2023 にバザー出店させていただきました。いつもながら7日の11時頃にはテントを建てて頂き、出展料もなく、私達はバザー品を並べて売るだけという「いいところ取り」をさせてもらっているようで、ただただ感謝です。

初日の7日はお天気になり、結構日差しが強かったので、「これじゃ売れ筋のマフラーやショールは売れないかもね。」とあきらめていたのですが、午後になるとぽつぽつ売れ出し、リサイクル品もそれなりに売れて、去年と同程度の売り上げ額を維持できました。8日の日曜日はやはり品数が減ってきたこともあり、初日に比べると売上は伸びません。然し、今年は最後に大道芸人さん達がミカの会の為に「投げ銭募金」をしてくれました。小雨が降ってきて足場の悪い中にもかかわらず、芸人さん達が、それぞれの芸を一生懸命に披露してくれて、投げ銭を集めてくれました。

パークアベニュー商店会の会長さんはじめ、スタッフの皆様、大道芸人の皆様、温かい志と応援に心から感謝申し上げます。有難う御座いました。この投げ銭募金をネパールの子ども達の為に大切にに使わせて頂きます。 松浦 陽子



☆☆ 2023.12.07 第5回つながり保育園異文化交流事業☆☆

ネパールの紹介。今回は歌や音楽「オカリナ演奏」に加え民芸品やアクセサリーで遊びました。子供たちはあっという間に打ち解けてとてもうれしそうでした。こうした事業もこれからは検討する必要がありますね。

と一緒に参加される会員の方を募集します。



【編集後記】

シリ・マヤデビー校の仏像が斎藤露理事長により綺麗に修復された祠に安置されました。校長はじめ先生方も喜んでおりました。



コロナ禍で大変遅れていたアマリ・マヤデビー両校が完成した事。広島祈りの石助成金事業が変更こそありましたが無事に完了した事。幼児教室の整備、老朽化していた屋根のペイントなど当初の予定以上の支援をすることが出来ました。そして何よりほっとしているのがラマさんです。ご家庭のことや体調不良など厳しい状況の中しっかり進めてくれました。日本にいても現地に行かなくても電話で指示してとか思いそうですが？それが出来ないのがネパールなんですよ。今回ばかりはラマさんの愚痴も何度も聞きました（笑）

計画されていた事業は終了しましたが、現地からの要望はまだまだたくさんあります。一度頭を整理して本当に必要な支援を継続していきたいものです。NPO法人の維持をしていくのか？などと内部的な問題も無視できません。いろいろな意見を出し合ってより良い方向を探っていきたいものです。別紙でご案内の新年会でお会いしましょう。

S.K